

## お知らせ

国土交通省・岡山県が連携して

「岡山県の水害・土砂災害対策」を作成しました。

～岡山県の総合流域防災対策～

国土交通省中国地方整備局と岡山県は、豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国と県が連携し、当該流域全体の安全度の確保状況等を調査、評価し、流域の状況や整備の進め方について国と県が共通の認識をもち、これに基づき双方の事業を調整し、効果的、効率的に整備を進めるための調整の場として、岡山県を3つの圏域（一級水系吉井川、旭川、高梁川のほぼ3流域）に分割した「総合流域防災調整会議」を各圏域に設立しました。

総合流域防災調整会議では、国土交通省及び岡山県の水害、土砂災害対策等の施策・事業について、水害・土砂災害についての当面の課題や整備内容の調整、整理、流域全体の災害対策を一体的に推進するための情報共有、調整等、当面実施予定の事業についての調整等、を行います。

この度、3つの圏域の特徴や治水対策上の課題、当面の治水対策の進め方を示した「岡山県の総合流域防災対策」を作成しましたので、お知らせします。

なお、この資料は、岡山河川事務所、岡山県のホームページでご覧いただけます。

岡山河川事務所 <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>

岡山県 <http://www.pref.okayama.jp/>

問合せ先：国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所

副所長 宮崎 貢（内線 205）

調査設計課長 上橋 昇（内線 351）

TEL (086) 223-5101

FAX (086) 222-7835

# 岡山県の総合流域防災対策

平成18年8月

岡山県吉井川圏域総合流域防災調整会議

岡山県旭川圏域総合流域防災調整会議

岡山県高梁川圏域総合流域防災調整会議

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所

岡山県土木部 河川課・砂防課

# 目 次

・ 総合流域防災調整会議とは	2
1 . 設置目的	
2 . 総合流域防災調整会議の内容	
3 . 設置状況	
4 . 3 圏域の特徴	3
5 . 岡山県吉井川圏域	4
6 . 岡山県旭川圏域	10
7 . 岡山県高梁川圏域	16

# 総合流域防災調整会議とは

## 1．設置目的

国土交通省中国地方整備局と岡山県は、豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国と県が連携し、当該流域全体の安全度の確保状況等を調査、評価し、流域の状況や整備の進め方について国と県が共通の認識をもち、これに基づき双方の事業を調整し、効果的、効率的に整備を進めるための調整の場として、平成17年4月25日に、岡山県を3つの圏域に分割した総合流域防災調整会議を各圏域に設立しました。

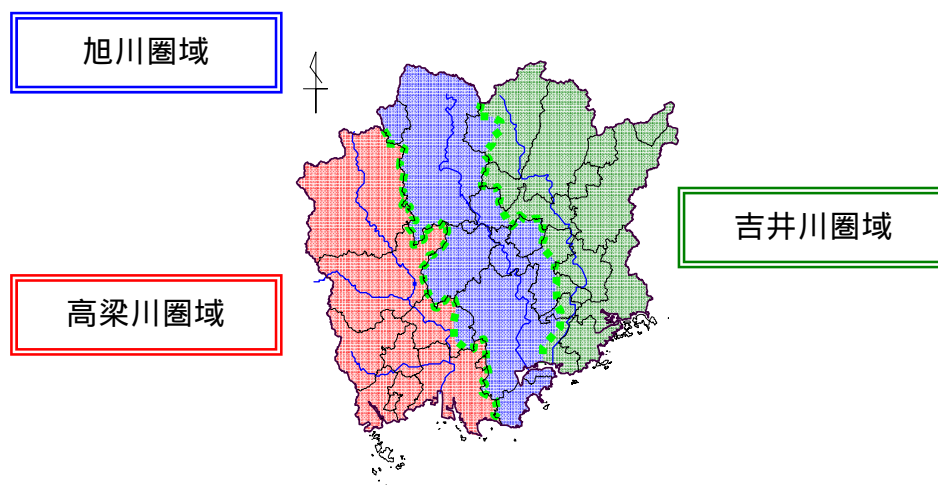
## 2．総合流域防災調整会議の内容

総合流域防災調整会議は、岡山県の一級水系吉井川、旭川、高梁川の3流域(圏域)において、国土交通省及び岡山県の水害、土砂災害対策等の施策・事業について、以下の調整事項を実施します。

- (1) 水害・土砂災害についての当面の課題や整備内容の調整、整理、流域全体の災害対策を一体的に推進するための情報共有、調整等
- (2) 当面実施予定の事業についての調整等

## 3．設置状況

吉井川圏域、旭川圏域、高梁川圏域の3調整会議を設置しています。



#### 4.3 圏域の特徴

吉井川、旭川、高梁川の3流域を中心とした3圏域は、岡山県土をほぼ網羅したエリアとなっています。これら3圏域の水源は北部の中国山地に発し、津山市、新見市等を結ぶ盆地を経て、岡山県中央丘陵地帯の狭小な渓谷を蛇行し、人口、資産の集中する南部の平野を緩勾配で貫流して、瀬戸内海に注いでいます。

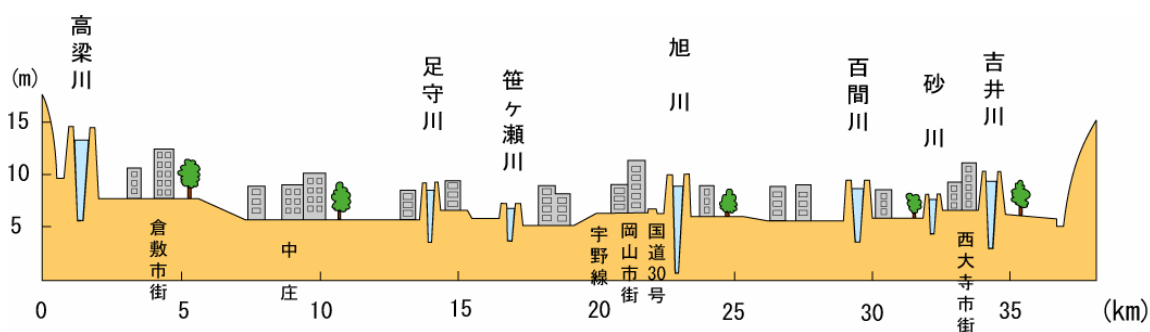
圏域内の年間降水量は、北部の中国山地では、2,000mm前後と比較的多くなっていますが、南部は1,200mm程度で、西日本の最小降雨地帯の一つになっています。

下流の沿岸地域は、河川からの堆積物が作り出した沖積平野が広がるとともに、干拓により造られた平地が広がって地盤が低いため、高潮被害を受けやすい地形となっています。また、低平地を流れる緩流河川では、内水被害が起きやすい状況となっています。

また、中上流域では、河川の流下能力不足によって生じる洪水被害や、谷底平野での内水被害が生じる可能性の高い地域となっています。

岡山県内の土石流危険渓流等の土砂災害危険箇所は、約12,000箇所あり、全国で20番目に多い数となっており、土砂災害に対する危険性も高い地域となっています。

南部地域は瀬戸内海式気候で、梅雨期以外は降水量が少なく、人口が集中し、農業用水、都市用水の利用が多いため、渇水被害が生じやすい状況となっています。



岡山県南部の地盤高と河川水位の関係

## 5 . 岡山県吉井川圏域

### ( 1 ) 治水対策の現状と課題

- ・ 吉井川流域の治水事業は、現在、昭和48年3月に改定された工事实施基本計画を基に計画されていますが、当面は平成10年の戦後最大洪水を対象に事業を進めています。
- ・ 上流部には、平成17年4月に完成した苫田ダムがあり洪水調節を行うとともに、県による河川改修事業が進められています。県区間の吉井川中上流域では、津山市街地に人口、資産が集中しており、洪水発生時の被害ポテンシャルが大きく、平成10年の台風10号により、津山市を中心として大きな浸水被害が発生したため、吉井川激甚災害対策特別緊急事業や皿川災害復旧助成事業により再度災害防止に努めていますが、平成16年の台風21・23号でも、支川吉野川などで一部氾濫が生じているため、さらに河川改修事業を促進していく必要があります。
- ・ 下流部の国の管理区間では、これまでに約8割の堤防が完成していますが河口部の高潮堤防については、平成16年の台風16号で被害が発生し、改修に着手されたばかりです。このため、高潮被害が発生しやすい状況にあることと、吉井川周辺は低平地で、朔望平均満潮位以下の面積が約45km<sup>2</sup>あり、約4万人の方々が居住しているため、氾濫が生じた場合の被害は甚大です。
- ・ 干田川、千町川流域は低平地の広がる岡山平野にあり、昭和51年の台風17号と平成2年の台風19号により甚大な浸水被害(昭和51年：4,525戸、平成2年：2,580戸)が発生し、その後、河川改修や内水排除対策が行われていますが、同様の事業を今後も促進していく必要があります。
- ・ 吉井川は、河川流量に対して、農業用水等の水利用が盛んで、特に和気町津瀬地点より下流域では、灌漑期に津瀬の平水流量の約6割強が取水され、渇水が起こりやすい状況になっていますが、苫田ダムの完成により、利水安全度が大幅に向上しました。(平成17年6月の渇水時には、吉井川の水量の概ね2割に相当する水がダムから補給され、6月の降雨量が平成6年渇水時の半分以下だったにも関わらず、深刻な水不足を回避することが出来ました。)



岡山市西幸西 家屋浸水痕跡  
(H16.8 台風 16 号)



岡山市乙子 浸水状況  
(H16.8 台風 16 号)



熊山町千隼 浸水状況 (現赤磐市)  
(H10.10 台風 10 号)



和気町和気 道路冠水状況  
(H10.10 台風 10 号)



吉井町福田 浸水状況 (現赤磐市)  
(H10.10 台風 10 号)



津山市平福 浸水状況  
(H10.10 台風 10 号)





美作市尾谷 土石流発生状況  
(H16.9 台風 21 号)



津山市上高倉 風倒木被害状況  
(H16.10 台風 23 号)

## ( 2 ) 治水対策の当面の進め方

### 河川

- ・岡山市乙子箇所では、平成 1 6 年度から整備を行っていますが、引き続き、無堤箇所の解消のための築堤護岸や千駄箇所において、流下能力向上のための旧堤掘削などの改修事業を促進していきます。

新永江川樋門



岡山市乙子 イメージ図



岡山市乙子 改修状況 (築堤護岸整備)

- ・岡山市西幸西箇所では、平成 1 7 年度までに 5 軒分の用地と家屋の買収が完了していますが、引き続き用地買収を進めるとともに、築堤護岸を実施していきます。
- ・干田川排水機場 (瀬戸内市) のポンプ等の分解整備を行い、操作の確実性向上を図ります。





赤磐市千躰 改修状況（旧堤撤去）

岡山市西幸西

- ・ 瓜生川樋門（瀬戸町）を電動化し、操作性の向上を図るとともに、老朽化した樋門本体の改築を併せて実施します。
- ・ 堤防の漏水等に対する安全性の点検を実施し、対策が必要な箇所について補強工事を実施します。
- ・ 吉井川本川の中上流部、及び吉野川や広戸川など、支川の改修促進を行っていきます。
- ・ 吉井川浸水想定区域図（岡山県管理区間）を公表し、ハザードマップ作成等の技術的支援を行います。

## 砂防

- ・ 砂防えん堤や擁壁工等の土砂災害防止対策を、計画的に促進していきます。
- ・ 自然環境や景観に配慮した透過型えん堤の整備を促進していきます。
- ・ 土砂災害防止法に基づく基礎調査を促進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を促進していきます。
- ・ 气象台と連携し、土砂災害警戒情報等を発表するためのシステム整備を行います。



池の上谷川（鏡野町）透過型えん堤



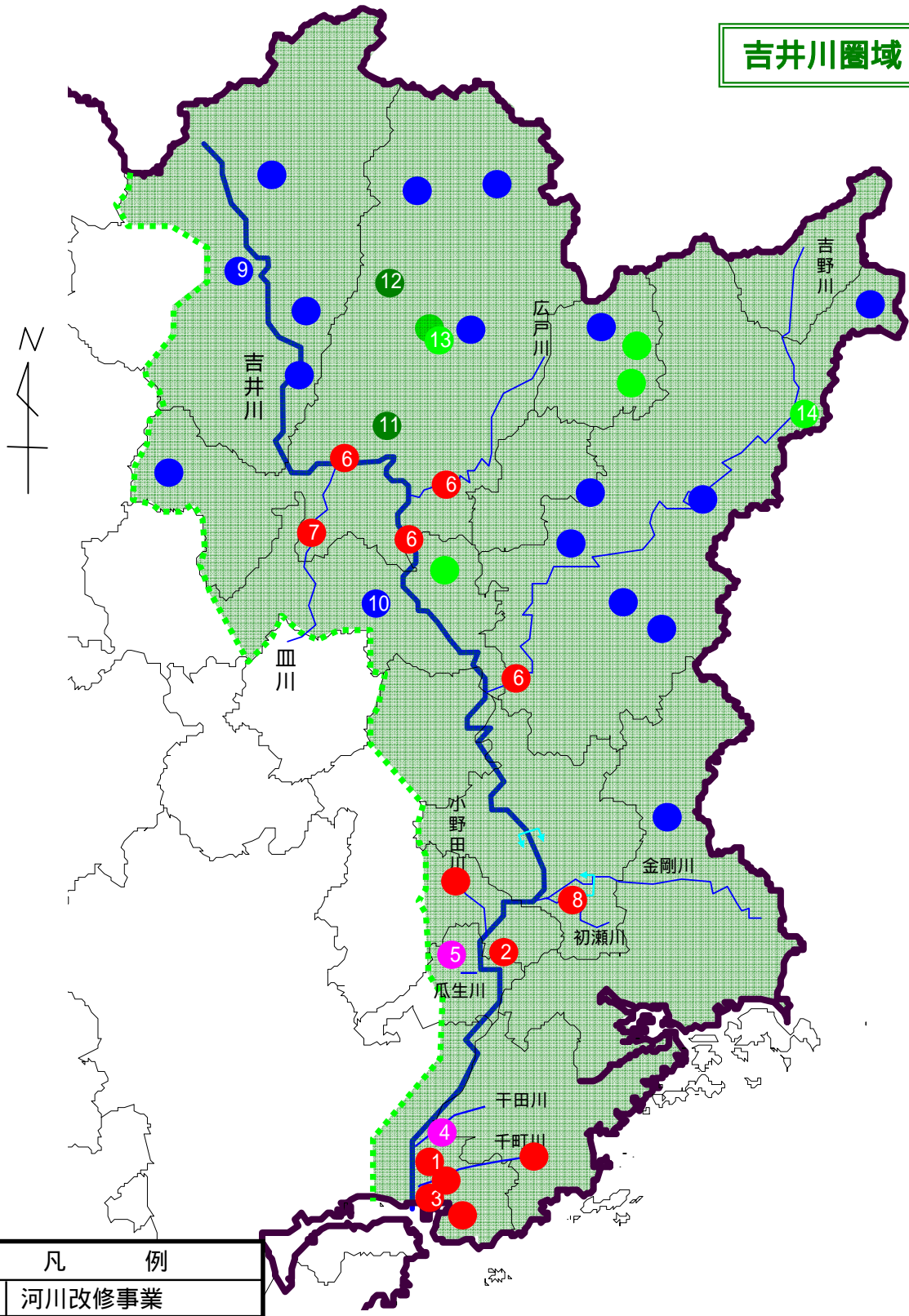
宮の鼻地区（瀬戸町）急傾斜地崩壊対策

（ 3 ）平成 1 8 年度主要事業箇所一覧表

番号	事業名	河川名 (箇所名)	所在地	事業内容	事業主体	備考
1	河川改修	吉井川（乙子）	岡山市乙子	築堤、護岸	国土交通省	
2	河川改修	吉井川（千躰）	赤磐市熊山	旧堤撤去	国土交通省	
3	河川改修	吉井川（西幸西）	岡山市西幸西	用地買収、築堤、護岸	国土交通省	
4	河川維持	吉井川（干田）	瀬戸内市	排水機場整備	国土交通省	
5	河川維持	吉井川	瀬戸町	樋門電動化、改築	国土交通省	H18 完成予定
6	河川改修	吉井川	和気町～津山市	築堤、護岸	岡山県	
7	河川改修	皿川	津山市福田	用地買収	岡山県	
8	河川改修	初瀬川	和気町衣笠	橋梁	岡山県	
	河川改修	その他 4 河川			岡山県	
	河川調査	吉井川	和気町～津山市	浸水想定区域調査	岡山県	H18 完成予定
9	砂防	西屋川	苫田郡鏡野町西屋	えん堤	岡山県	
10	砂防	実安川	久米郡美咲町大戸上	えん堤	岡山県	H18 概成予定
	砂防	他 1 5 箇所			岡山県	
11	地すべり	沼地区	津山市沼	アンカー	岡山県	
12	地すべり	榎井前地区	津山市榎井	横ボーリング	岡山県	
13	急傾斜	深山地区	津山市上高倉	擁壁、法枠	岡山県	
14	急傾斜	高岡地区	美作市宮本	擁壁、法枠	岡山県	H18 概成予定
	急傾斜	他 4 箇所			岡山県	

# 岡山県 平成18年度 事業実施箇所一覧

## 吉井川圏域



凡 例	
	河川改修事業
	河川維持修繕事業
	災害復旧(助成)事業
	砂防事業
	地すべり対策事業
	急傾斜地崩壊対策事

## 6 . 岡山県旭川圏域

### ( 1 ) 治水対策の現状と課題

- ・ 旭川流域の治水事業は、現在、平成 4 年 4 月に改定された工事实施基本計画を基に計画されていますが、当面は平成 1 0 年の戦後最大洪水を対象に事業を進めています。
- ・ 中上流部の県の区間には、湯原ダム、旭川ダムがあり洪水調節を行うとともに、改修事業が進められています。また、下流部の国の管理区間では、旭川、百間川の改修が進められ、これまでに約 8 割の堤防が完成していますが、高潮堤防については着手されていません。このため、高潮被害が発生しやすい状況にあります。また、旭川周辺は低平地で、朔望平均満潮位以下の面積が約 4 2 k m<sup>2</sup>あり、約 1 3 万人の方々が居住しているため、氾濫が生じた場合の被害は甚大です。平成 1 6 年の台風 1 6 号では、河口部で高潮被害が発生し、緊急復旧が行われました。
- ・ 平成 1 0 年の台風 1 0 号では、旭川上流域で集中豪雨が発生し、下流では、岡山市東西中島地区や、中原地区で大きな被害が発生しました。また、中上流部でも浸水被害が発生しました。
- ・ また、平成 1 6 年の台風 2 3 号では、圏域内の二級河川笹ヶ瀬川で溢水のおそれがあったため、各河川で改修事業を推進していく必要があります。



岡山市東西中島地区 家屋浸水状況  
(H10.10 台風 10 号)



岡山市後楽園 駐車場浸水状況  
(H10.10 台風 10 号)



岡山市中原地区 浸水状況  
(H10.10 台風 10 号)



岡山市江並地区 浸水痕跡  
(H16.8 台風 16 号)



御津町宇垣地区 浸水状況(現岡山市)  
(H10.10 台風 10 号)



岡山市野花大橋上流 水位状況(笹ヶ瀬川)  
(H16.10 台風 23 号)



岡山市宮浦地内の土石流発生状況  
(H16.9 台風 21 号)



玉野市宇野七丁目地内の土石流発生状況  
(H16.10 台風 23 号)



## ( 2 ) 治水対策の当面の進め方

### 河川

- ・ 百間川河口水門は、計画流量の6割程度しか流下能力がないため、現水門の東側に3門の水門を増築します。また、百間川分流部の整備方針の検討を行うなど、旭川放水路の改修事業を促進していきます。



岡山市沖元の百間川河口水門増築事業

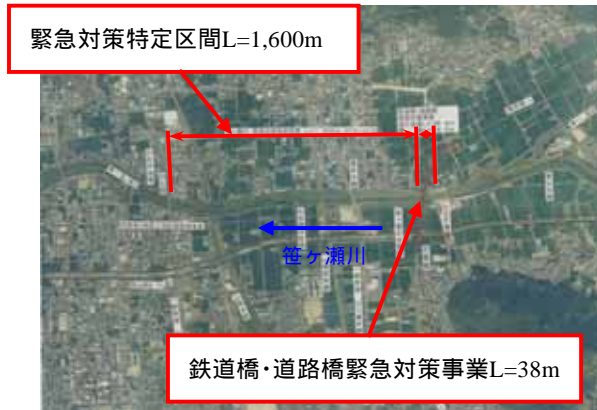
- ・ 岡山市今在家箇所に、水防活動拠点として、河川防災ステーション整備を整備します。また、平常時は市民の交流の場としての活用を予定しています。



岡山市今在家の河川防災ステーション

- ・ 岡山市浜野箇所において、低水護岸の補修を行います。
- ・ 庄内川排水機場（岡山市）のポンプ等の分解整備を行い、操作の確実性向上を図ります。
- ・ 堤防の漏水等に対する安全性の点検を実施し、対策が必要な箇所について補強工事を実施します。
- ・ 旭川本川（中流部）及び支川備中川、砂川の改修促進を行っていきます。

- ・二級河川笹ヶ瀬川の緊急対策特定区間、及び鉄道橋道路橋緊急対策事業により、改修促進を行っていきます。



岡山市白石箇所の  
 笹ヶ瀬川 緊急対策特定区間  
 鉄道橋・道路橋緊急対策事業

- ・旭川河口部に潮位観測所を設置し、観測を実施して行くとともに、高潮による水防警報の発令のための基礎情報とします。
- ・岡山市が作成する予定の洪水ハザードマップについて、技術的支援を行います。
- ・旭川流域連絡協議会において、防災マップ作成などの自主防災組織活動の支援を、引き続き行っていきます。
- ・情報基盤整備事業により、防災情報の提供を促進します。

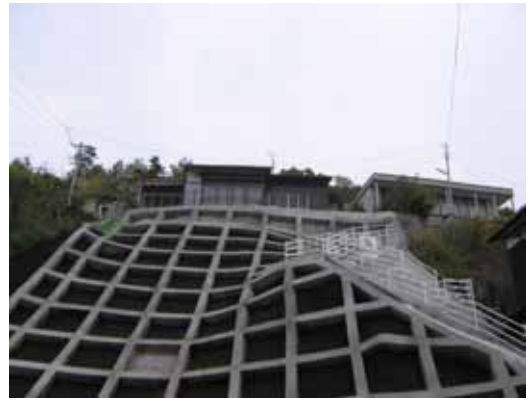
## 砂防

- ・砂防えん堤や擁壁工等の土砂災害防止対策を、計画的に促進していきます。
- ・自然環境の保全・再生を図るため、既設えん堤の改良を促進していきます。
- ・土砂災害防止法に基づく基礎調査を促進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を促進していきます。
- ・气象台と連携し、土砂災害警戒情報等を発表するためのシステム整備を行います。





植杉谷川（真庭市）透過型えん堤



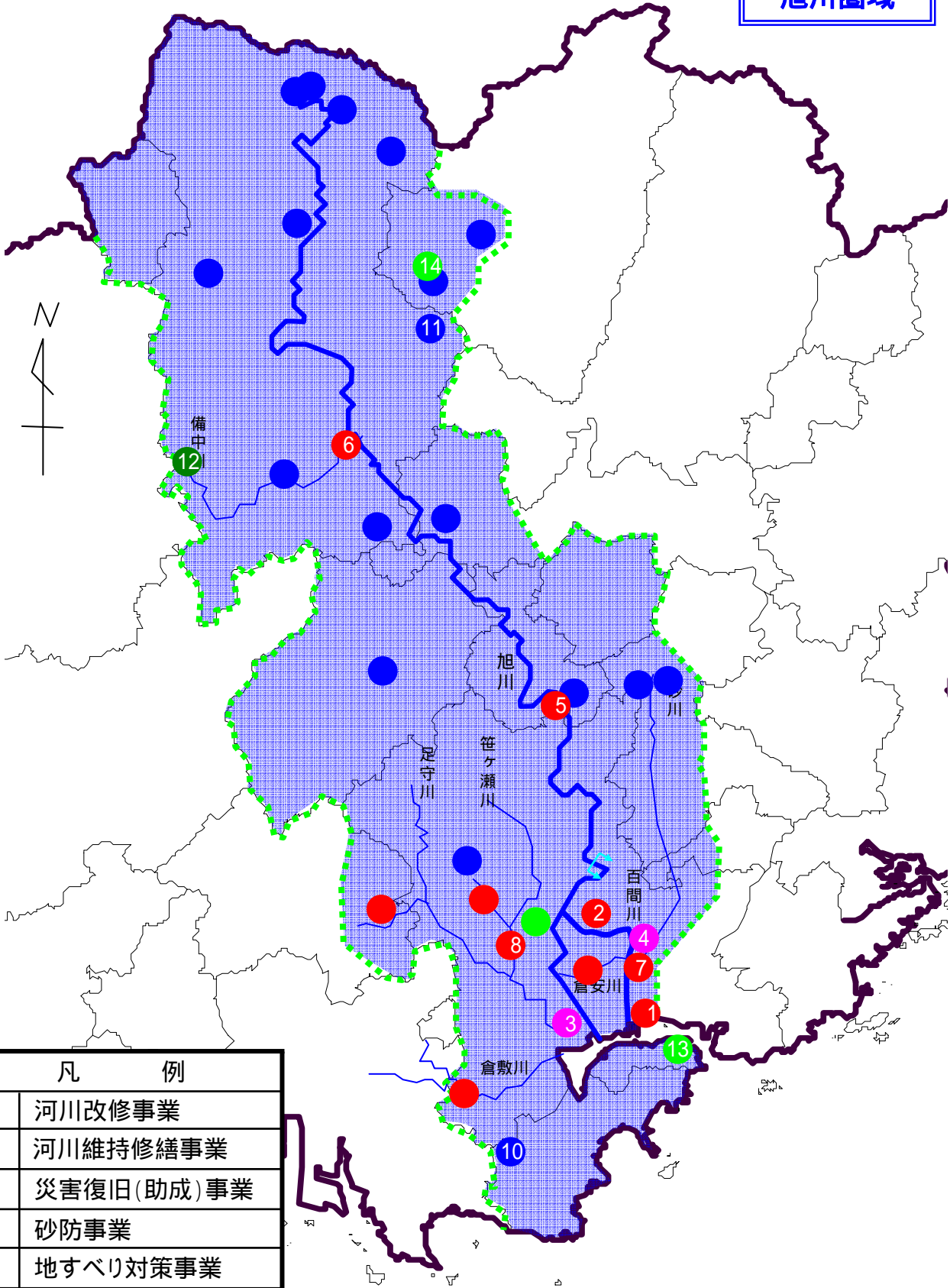
釜屋床地区（玉野市）急傾斜地崩壊対策

（ 3 ）平成 1 8 年度主要事業箇所一覧表（位置図含む）

番号	事業名	河川名 （箇所名）	所在地	事業内容	事業主体	備考
1	河川改修	百間川（沖元）	岡山市沖元	河口水門本体工	国土交通省	
2	河川改修	旭川（今在家）	岡山市今在家	防災ステーション基盤整備	国土交通省	
3	河川維持	旭川（浜野）	岡山市浜野	捨石工、矢板護岸工	国土交通省	H18 完成予定
4	河川維持	百間川（庄内）	岡山市中川	排水機場整備	国土交通省	
5	河川改修	旭川（小倉）	建部町小倉	築堤	岡山県	
6	河川改修	備中川	真庭市垂水	築堤・護岸	岡山県	
7	河川改修	砂川	岡山市西大寺	築堤・旧堤撤去	岡山県	
8	河川改修	笹ヶ瀬川	岡山市白石	築堤・JR 橋梁	岡山県	
	河川改修	その他 4 河川			岡山県	
9	河川情報	旭川他		統括局整備	岡山県	
10	砂防	東谷川	玉野市槌ヶ原南奥	えん堤	岡山県	
11	砂防	矢古谷川	真庭市余野下	えん堤	岡山県	
	砂防	その他 1 6 箇所			岡山県	
12	地すべり	上皆部地区	真庭市上皆部	横ポーリング	岡山県	
13	急傾斜	阿津西地区	岡山市阿津	法枠	岡山県	
14	急傾斜	大倉地区	久米郡鏡野町富西谷	擁壁	岡山県	
	急傾斜	その他 1 箇所			岡山県	

# 岡山県 平成18年度 事業実施箇所一覧

旭川圏域



凡 例	
	河川改修事業
	河川維持修繕事業
	災害復旧(助成)事業
	砂防事業
	地すべり対策事業
	急傾斜地崩壊対策事

## 7. 岡山県高梁川圏域

### (1) 治水対策の現状と課題

- ・高梁川下流域の国の管理区間は改修の歴史が古く、明治43年の全国第1期改修河川(全20河川)に指定され、酒津付近から東西2つの流れに分かれていた高梁川を1本化し、堤防の築造や堰の改築を行い、大正14年に概ね現在の形が出来上がりました。現在の治水事業は、平成元年3月に改定された工事实施基本計画を基に計画されていますが、当面は昭和47年の戦後最大洪水を対象に事業を進めています。また、平成18年3月に三室川ダムが完成し、その効果が期待されています。
- ・下流域の堤防は高さが非常に高く、しかも単断面で、多くの区間で必要な堤防の断面を満足していません。このため、完成堤防は4割弱で、今後は洪水時の堤防の崩落や漏水に対する安全性の点検と、安全度の低いところについては堤防の強化を推進していく必要があります。
- ・また、高梁川周辺の低平地は、朔望平均満潮位以下の面積が約39km<sup>2</sup>あり、約10万人の方々が居住しているため、氾濫が生じた場合の被害は甚大です。平成16年の台風16号では、河口部で高潮被害が発生し、高潮計画の見直しが必要となっています。



倉敷市玉島乙島 被害状況  
(H16.8 台風16号)



倉敷市連島町 被害状況  
(H16.8 台風16号)



倉敷市玉島乙島 台風時越波状況  
(H16.9 台風 18 号)



倉敷市玉島乙島 浸水状況  
(H16.8 台風 16 号)



倉敷市児島唐琴 土石流発生状況  
(H16.10 台風 23 号)

- ・柳井原湖は、第 1 期改修時に旧西高梁川の河道を締め切り、農業用水確保のための貯水池として利用することを目的に造られましたが、十分な貯水の機能が発揮されないまま現在に至っています。
- ・高梁川上流部や支川小田川では、平成 16 年の度重なる台風により、警戒水位を超える出水があり、改修事業を促進していく必要があります。
- ・支川小田川は、高梁川本川の背水の影響により、洪水時の水位が高くなり、内水被害が頻発しています。このため、河道の付け替えや、河床掘削等により洪水時の水位を下げ、治水安全度の向上を図る必要があります。

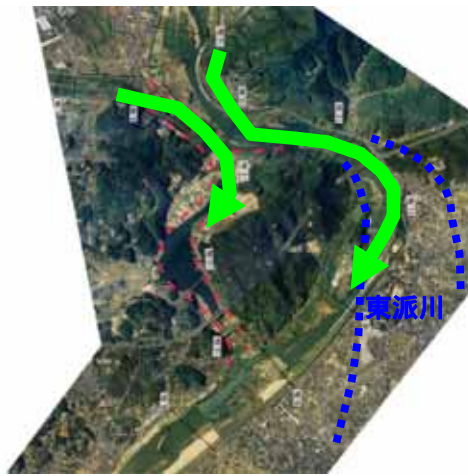


真備町 洪水状況 (現倉敷市)  
(S47.7 梅雨前線豪雨)

## ( 2 ) 治水対策の当面の進め方

### 河川

- ・ 高梁川河口部では、平成 1 6 年の相次ぐ台風の来襲により実施した災害復旧工事が完了し、倉敷市乙島箇所では、引き続き安全度を高める対策のため、段階的な盛土による堤防整備を実施します。
- ・ 小田川の抜本的治水対策のため、小田川河道の付け替えによって、流下能力の向上を図ります。



小田川付け替え事業

- ・ 倉敷市酒津箇所では、堤防の強化対策を先進的に取り組んでおり、引き続き堤防断面拡大等の強化対策を行っていきます。また、その他の箇所においても、堤防の漏水等に対する安全性の点検を実施し、対策が必要な箇所について補強工事を実施します。
- ・ 多目的ダムである大谷川生活貯水池(新見市)の建設を促進していきます。
- ・ 高梁川(新見)及び小田川の改修促進を行っていきます。
- ・ 高梁川河口部に潮位観測所を設置し、観測を実施して行くとともに、高潮による水防警報の発令のための基礎情報とします。
- ・ 総社市等が作成する予定の洪水ハザードマップについて、技術的支援を行います。また、小田川浸水想定区域図(岡山県管理区間)を公表し、洪水ハザードマップ作成等の技術的支援を行います。



## 砂防

- ・砂防えん堤や擁壁工等の土砂災害防止対策を、計画的に促進していきます。
- ・自然環境や景観に配慮した、透過型えん堤を促進していきます。
- ・土砂災害防止法に基づく基礎調査を促進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を促進していきます。
- ・気象台と連携し、土砂災害警戒情報等を発表するためのシステム整備を行います。



粟谷川（新見市）透過式えん堤



薬師上地区（笠岡市）急傾斜地崩壊対策

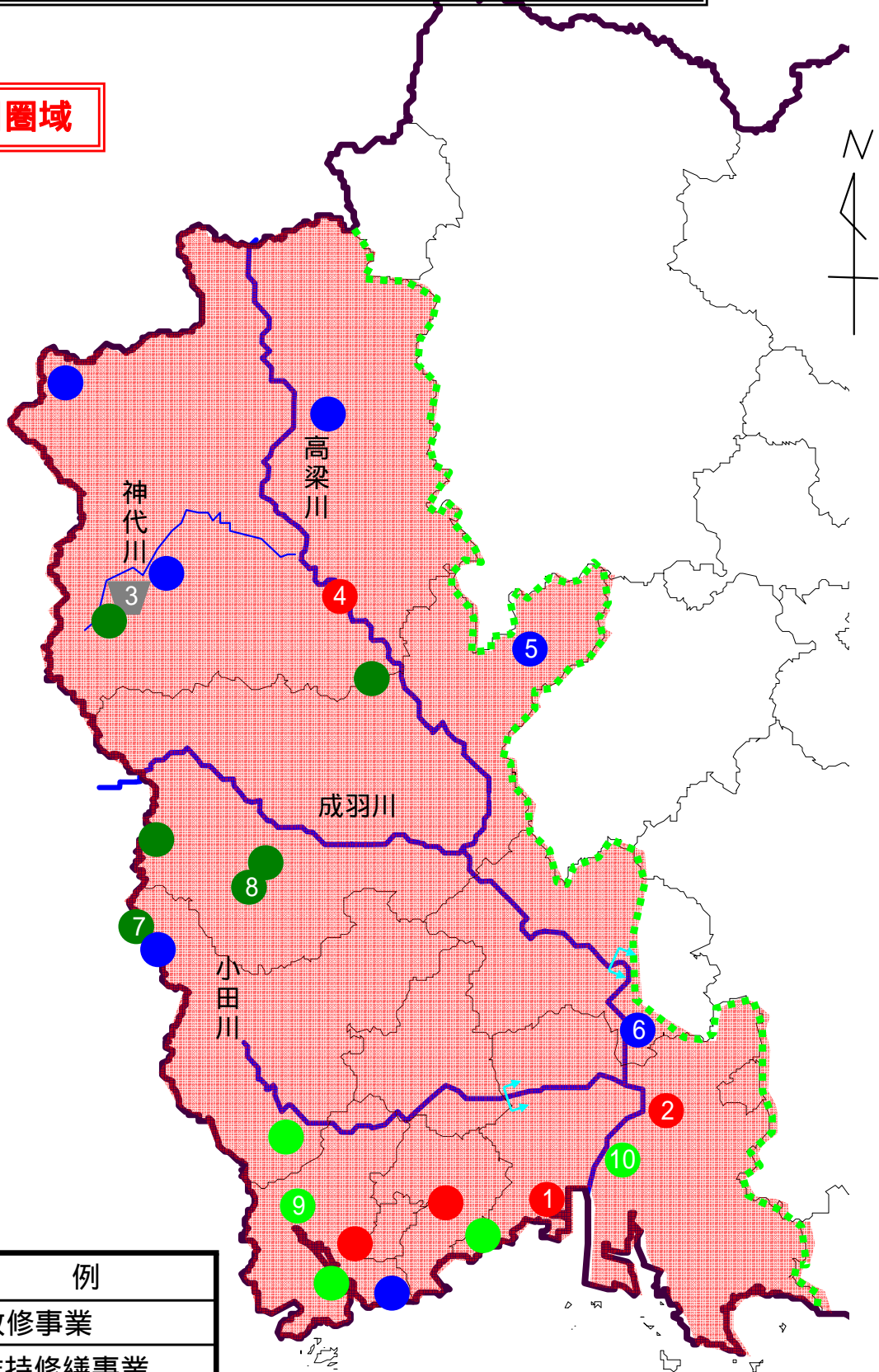
( 3 ) 平成 1 8 年度主要事業箇所一覧表

番号	事業名	河川名 (箇所名)	所在地	事業内容	事業主体	備考
1	河川改修	高梁川(乙島)	倉敷市乙島	築堤他	国土交通省	
2	河川改修	高梁川(酒津)	倉敷市酒津	質的整備	国土交通省	
3	ダム建設	大谷川生活貯水池	新見市	設計・調査	岡山県	
4	河川改修	高梁川	新見市金谷	堰改築	岡山県	
	河川改修	その他 3 河川			岡山県	
5	砂防	郷谷川	高梁市	えん堤	岡山県	
6	砂防	扇谷川	総社市清音古池	えん堤	岡山県	H18 概成予定
	砂防	他 5 件			岡山県	
7	地すべり	上嶋陰地地区	井原市芳井町上嶋	集水井	岡山県	
8	地すべり	下平地区	高梁市川上町	アンカー	岡山県	
	地すべり	他 4 箇所			岡山県	
9	急傾斜	旭地区	笠岡市吉浜	擁壁	岡山県	
10	急傾斜	連島丸山地区	倉敷市連島	擁壁、法枠	岡山県	
	急傾斜	他 3 件			岡山県	



# 岡山県 平成18年度 事業実施箇所一覧

## 高梁川圏域



凡 例	
	河川改修事業
	河川維持修繕事業
	災害復旧(助成)事業
	砂防事業
	地すべり対策事業
	急傾斜地崩壊対策事